

触る人へ
10m
Bunkamura

女たちよ、花であれ。

真夜中のダンス。
熱いキスと切ない朝。
女だけのパーティー。
馬鹿騒ぎの夜。
別れた男とのランチ。
肩に回された手の感触。
家族では癒せない胸の痛み。
新しい恋への恐れ。
死ぬまで想い続けても、
届かないかもしれない愛。

白い街を流れる、人生の時間。
あなたの中に、彼女はいる。

あなたの中に、彼女はいる。
チャールミングな大人のオンナになるための5つのレシピ。

Jani Thilges &
Claude Waringo
present
une production
samsa film

elles

un film de
Luís Galvão Teles

エル

カルメン・マウラ ミュウミュウ マリサ・ベレンソン ゲッシュ・パティ マルト・ケラー ホアキン・デ・アルメイダ ディディエ・フラモン
監督:ルイス・ガルバン・テレシュ 製作:クララ・アガビト、ルイス・ガルバン・テレシュ 脚本:ルイス・ガルバン・テレシュ、ドン・ボリンジェ
撮影:アルフレード・マヨ 美術:ヴェロニク・サクレ 音楽:アレハンドロ・マツソ 音響:カルロ・トス 編集:レジナ・バルツキ キャスティング:パトリック・ムーリン
ポルトガル・フランス・ルクセンブルグ・ベルギー・スイス合作映画
後援:ポルトガル大使館 提供:シネマテン/マイビック 配給:シネマテン

どこまでも続く石畳。歳月に洗われた白い街並み。海から吹いてくる風――。

女たちを乗せて坂道をゆっくり走る路面電車。

涙のスパイスをふりかけた、人生のエスプリ。

世界一美しい街リスボンを舞台に、

女たちがくりひろげる、幸せと愛。

elles エル



キャスト

カルメン・マウラ
ミュウミュウ
マリサ・ベレンソン
ゲッシュ・パティ
マルト・ケラー
ホアキン・テ・アルメイダ
ティティエ・フラモン

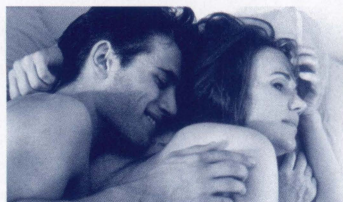
スタッフ

監督:ルイス・ガルバン・テレシウ
製作:クララ・アカビト、ルイス・ガルバン・テレシウ
脚本:ルイス・ガルバン・テレシウ、ドン・ポリンジェ
撮影:アルフレード・マヨ
音楽:アレハンドロ・マツ

あなたの中に、彼女がいる。チャーミングな大人の女になるための5つのレシピ。

5人の女たちの人生の時間を切り取った『エル』は、笑って、泣いて、ドキッとして、映画館を出る頃には、誰かにギュッと抱きしめられたい気持ちになっている映画。すべての女性に、自分らしく生きる勇気を与えてくれる。主人公は、境遇も生き方も違う5人の女。午前3時になると恋人を帰し、独りで眠りにつくテレビキャスター。25歳年下の学生と恋に落ちる大学教授。言い寄る男たちよりも、女友達に惹かれてしまうヘアメイクアーティスト。そのエキセントリックな生き方で、周囲を傷つけずにはいられない女優。家族では癒せない心の渇きを抱えた主婦――。この映画が描いているのは、互いに友人同士である彼女たちの数日間。それぞれの人生に小さなドラマが起り、誰もが自分の人生について決断を迫られる。仕事、恋、結婚、家族、セックス、友情…。それらは、スクリーンのこちら側にいる女性たちが人生の中で必ずぶつかるテーマでもある。

ここにあるのは、チャーミングな大人の女になるための5つのレシピ。軽快なテンポで展開するストーリーと、ヨーロッパ映画ならではの洒落た台詞を通して、すべての女性に、本当の幸福を手に入れるための愛のつかまえ方を教えてくれる。



女の胸は、あした咲くつぼみを隠してる。咲かせて、あなた色の花。

5人のヒロインを演じるのは、『読書する女』『ドライ・クリーニング』のミュウミュウ、『マタドール』『神経衰弱ぎりぎりの女たち』などのペドロ・アルモドバル監督作品で知られるカルメン・マウラ、『ベニスに死す』、『ハリー・リンドン』のマリサ・ベレンソン、『悲愁』『ボビー・デアフィールド』のマルト・ケラー、そして、ダンサー、歌手、舞台女優としてヨーロッパでは有名なゲッシュ・パティ。第一級の女優たちが、あくまでもナチュラルに、等身大の女性像を演じている。

彼女たちの生き方や性格を反映したファッションやインテリア、そして街の風景も、この作品の大きな魅力になっている。監督は、ポルトガルの俊英ルイス・ガルバン・テレシウ。「男性監督がなぜここまで女性の微妙な心理を描けたのか」と、ヨーロッパのマスコミを驚かせたが、この映画は男性からの女性賛歌でもある。

人生の哀歓を味わってきた大人の女たち。けれども、華やかな職業についても、愛する家族がいても、時にはさびしきや辛さに向き合わなければならない。そんな中で、彼女たちは気づいていく。いくつ恋を経ても変わる事のない、傷つきやすくやわらかな何か胸の奥に眠っていることに…。そして、辛い夜に抱きしめてくれる誰かの胸をいつも求めている、少女の頃から少しも変わっていない自分に出会うのだ。

いつのまにか身につけてしまった、意地やプライド、大人の知恵は、時には幸せになる邪魔をする。でも、ほんの少しか自分素直になれば、他の誰とも違う、自分だけの花を咲かせることができる。たとえいくつになっても、新しい一歩を踏み出す勇気がある限り、今よりもっと幸せになれる。そのことを見せてくれる映画が『エル』なのだ。

後援:ポルトガル大使館 提供:シネマテン/マイピック 配給:シネマテン ポルトガル、フランス、ルクセンブルグ、ベルギー、スイス合作映画/ビスタサイズ/ドルビー・デジタル/98分

2000年1月ロードショー

（詳細は劇場まで）
お問い合わせ下さい）
前売鑑賞券¥1500好評発売中!! (当日一般 ¥1800の処)
★劇場窓口、市内プレイガイドやチケットぴあ、ローソンなどでお求め下さい。

心斎橋アメリカ村 BIG STEP 4F
パラダイスシネマ
06(6282)1460

当劇場は各回入替制です。
途中入場はご遠慮下さい。

